



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 シチズン時計株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7762 URL https://www.citizen.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大治 良高
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報IR室担当 (氏名) 小林 啓一 TEL 042-468-4934
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	75,282	△0.8	4,699	0.3	6,166	△16.1	9,186	7.5
2025年3月期第1四半期	75,888	4.4	4,684	△15.4	7,347	△8.2	8,543	36.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 3,994百万円(△74.3%) 2025年3月期第1四半期 15,520百万円(△20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	37.67	—
2025年3月期第1四半期	35.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	418,966	262,538	60.7	1,043.55
2025年3月期	415,552	264,147	61.6	1,049.41

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 254,488百万円 2025年3月期 255,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	23.50	—	23.50	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	155,000	△1.0	9,000	△27.0	10,000	△18.5	11,000	△10.4	45.11
通期	318,000	0.4	20,000	△2.9	22,000	△4.4	20,000	△16.2	82.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	246,000,000株	2025年3月期	246,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,132,075株	2025年3月期	2,131,730株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	243,868,147株	2025年3月期1Q	243,821,172株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、物価上昇や米国関税政策などの影響による先行き不透明感から一部で足踏みがみられましたが、個人消費は緩やかに持ち直しました。北米経済は、景気の不確実性が高まりながらも、個人消費は底堅さを保ちました。欧州経済は、賃金上昇やインフレ圧力の低下がみられたものの、個人消費は力強さを欠く展開となりました。また、アジア経済は、米中合意による追加関税率の低下を受け、中国が景気持ち直しの動きをみせたほか、その他の一部アジア地域も米国への駆け込み輸出などが増加しましたが、個人消費の回復は限定的なものに留まりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、工作機械事業が増収に転じたものの、デバイス事業が減収となり、売上高は752億円(前年同期比0.8%減)と減収となりましたが、営業利益は46億円(前年同期比0.3%増)と増益となりました。また、為替差益の減少等により経常利益は61億円(前年同期比16.1%減)と減益となりましたが、投資有価証券の売却益等により親会社株主に帰属する四半期純利益については91億円(前年同期比7.5%増)と増益となりました。

なお、新たな中期経営計画の下、利益率と資本効率性の向上に注力していくことに伴い、事業ポートフォリオの最適化を図り、適切な経営管理を行うため、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを「時計事業」、「工作機械事業」、「デバイス事業」へ変更しております。この変更に伴い、従来の「電子機器他事業」のうち、主要な事業を「デバイス事業」に集約し、その他の事業は、「時計事業」へ含めることといたしました。前年同期比については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。

(時計事業)

ウォッチ販売のうち、“シチズン”ブランドの国内市場は、レディスブランドの『クロスシー』が堅調に推移したものの、メンズブランドの『アテッサ』の高価格帯モデルの販売とインバウンド需要が想定を下回る結果となり、減収となりました。

海外市場のうち北米は、『プロマスター』や『アテッサ』等のグローバルサブブランドの販売拡大などにより、主要流通である時計専門店と百貨店流通が堅調に推移したほか、EC販売も大きく伸長し、増収となりました。欧州は、イギリスやフランスなどが堅調に推移しましたが、市況低迷の影響を受け、減収となりました。アジアは、タイやインド等の一部市場は堅調に推移したものの、その他アジア地域及び中国の市況低迷が継続し、減収となりました。

今年ブランド創業150周年を迎えた“グローバ”ブランドは、主力の北米において、主要流通である時計専門店と百貨店流通に加え、EC販売も好調に推移し、増収となりました。

ムーブメント販売は、アナログクォーツムーブメントが伸び悩みましたが、機械式ムーブメントが堅調に推移し、前年並みとなりました。

以上の結果、時計事業全体では、先行きの不透明感から消費者マインドの回復が限定的となる中、ブランド提供価値の向上や高付加価値製品の強化に向けた取り組みを進めたことで、売上高は415億円(前年同期比0.3%減)と減収となりましたが、営業利益は主に北米の売上高の増加により、44億円(前年同期比18.5%増)と増益となりました。

(工作機械事業)

設備投資への慎重姿勢が長期化する中、国内市場は、市況に底打ち感は見られるものの、主に自動車関連が低迷したほか、半導体関連や建機関連も足踏みし、減収となりました。海外市場のうち米州は、医療関連やジョブショップ向けの販売が好調に推移し、増収となりました。欧州は、一部地域で景況感に緩やかな改善がみられ、医療関連の販売が堅調さを保ち、増収となりました。アジアは、インドや中国向けの販売等が伸長し、増収となりました。

以上の結果、工作機械事業全体では売上高は189億円(前年同期比6.0%増)と増収となりました。営業利益は売上高の増加により、15億円(前年同期比15.1%増)と増益となりました。

(デバイス事業)

自動車部品は、国内の自動車メーカーの生産の正常化が進んだほか、米国と中国が堅調に推移し、増収となりました。小型モーターは、市況の先行き不透明感から販売が足踏みし、減収となりました。セラミックスは、サブマウント製品等が堅調に推移し、増収となりました。プリンターは、国内と欧州においてPOSプリンターとバーコードプリンターが堅調に推移しましたが、前年同期に獲得したフォトプリンターの大口受注の反動を受け、減収となりました。

以上の結果、デバイス事業全体では売上高は147億円(前年同期比9.6%減)と減収、営業利益は4億円(前年同期比66.8%減)と減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億円増加し、4,189億円となりました。資産の内、流動資産は、現金及び預金が52億円、棚卸資産が37億円増加したこと等により、79億円の増加となりました。固定資産につきましては、有形固定資産合計が7億円増加した一方、投資有価証券が58億円減少したこと等により、45億円の減少となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ50億円増加し、1,564億円となりました。これは、支払手形及び買掛金が25億円、賞与引当金が16億円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が36億円増加した一方、その他有価証券評価差額金が37億円減少したこと等により16億円減少し、2,625億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期(累計)及び連結業績予想につきましては、2025年5月13日発表の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,755	98,986
受取手形及び売掛金	53,928	52,066
電子記録債権	2,969	3,025
商品及び製品	61,000	63,458
仕掛品	26,251	26,990
原材料及び貯蔵品	24,018	24,550
未収消費税等	2,519	3,601
その他	8,707	8,429
貸倒引当金	△1,200	△1,212
流動資産合計	271,950	279,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,435	42,010
機械装置及び運搬具（純額）	19,703	19,702
工具、器具及び備品（純額）	4,797	4,714
土地	11,231	12,018
リース資産（純額）	6,646	6,898
建設仮勘定	6,807	7,023
有形固定資産合計	91,621	92,369
無形固定資産		
ソフトウェア	5,723	5,770
その他	799	783
無形固定資産合計	6,523	6,553
投資その他の資産		
投資有価証券	36,993	31,189
繰延税金資産	6,061	6,632
その他	2,484	2,408
貸倒引当金	△82	△81
投資その他の資産合計	45,457	40,148
固定資産合計	143,602	139,071
資産合計	415,552	418,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,894	20,464
電子記録債務	8,018	8,225
設備関係支払手形	47	—
営業外電子記録債務	2,870	2,533
短期借入金	15,180	15,010
未払法人税等	2,445	3,126
未払費用	12,021	13,091
賞与引当金	6,368	7,995
役員賞与引当金	386	—
製品保証引当金	1,207	1,233
事業再編整理損失引当金	60	59
その他	11,052	10,969
流動負債合計	77,553	82,711
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	37,027	37,026
繰延税金負債	2,183	1,778
事業再編整理損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	16,490	16,609
リース債務	6,006	6,223
その他	2,140	2,075
固定負債合計	73,852	73,716
負債合計	151,405	156,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,648	32,648
資本剰余金	33,747	33,747
利益剰余金	137,961	141,652
自己株式	△1,669	△1,669
株主資本合計	202,688	206,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,592	7,831
為替換算調整勘定	40,196	38,945
退職給付に係る調整累計額	1,441	1,331
その他の包括利益累計額合計	53,230	48,109
非支配株主持分	8,228	8,050
純資産合計	264,147	262,538
負債純資産合計	415,552	418,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	75,888	75,282
売上原価	43,661	42,787
売上総利益	32,226	32,494
販売費及び一般管理費	27,542	27,794
営業利益	4,684	4,699
営業外収益		
受取利息	364	292
受取配当金	425	365
持分法による投資利益	244	388
助成金収入	0	31
為替差益	1,612	430
その他	136	178
営業外収益合計	2,785	1,687
営業外費用		
支払利息	74	96
その他	47	123
営業外費用合計	122	220
経常利益	7,347	6,166
特別利益		
固定資産売却益	392	18
投資有価証券売却益	4,866	5,680
その他	4	0
特別利益合計	5,263	5,698
特別損失		
固定資産除却損	14	18
固定資産売却損	0	5
事業再編整理損	0	—
社会保険料追加負担金	—	107
その他	1	0
特別損失合計	16	130
税金等調整前四半期純利益	12,593	11,734
法人税等	4,039	2,597
四半期純利益	8,554	9,137
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	10	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,543	9,186

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	8,554	9,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,657	△3,760
為替換算調整勘定	8,521	△1,087
退職給付に係る調整額	△305	△115
持分法適用会社に対する持分相当額	408	△179
その他の包括利益合計	6,966	△5,143
四半期包括利益	15,520	3,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,339	4,065
非支配株主に係る四半期包括利益	181	△71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	41,634	17,927	16,326	75,888	—	75,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	68	533	618	△618	—
計	41,651	17,995	16,859	76,506	△618	75,888
セグメント利益	3,715	1,314	1,210	6,240	△1,555	4,684

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,555百万円には、セグメント間取引消去20百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,576百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	時計事業	工作機械事業	デバイス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	41,529	18,994	14,758	75,282	—	75,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	111	642	776	△776	—
計	41,551	19,106	15,400	76,058	△776	75,282
セグメント利益	4,404	1,512	401	6,318	△1,618	4,699

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△1,618百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,635百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「時計事業」、「工作機械事業」、「デバイス事業」、「電子機器他事業」を報告セグメントとしておりましたが、新たな中期経営計画の下、利益率と資本効率性の向上に注力していくことに伴い、事業ポートフォリオの最適化を図り、適切な経営管理を行うため、当第1四半期連結累計期間より、「時計事業」、「工作機械事業」、「デバイス事業」へ変更しております。

この変更により、従来の電子機器他事業のうち、主要な事業をデバイス事業に集約し、その他の事業につきましては時計事業へ含めることといたしました。工作機械事業につきましては従来から変更はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

各報告セグメント（事業区分）に属する主要な製品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要な製品
時計事業	ウォッチ、ムーブメント
工作機械事業	CNC自動旋盤
デバイス事業	自動車部品、水晶デバイス、セラミックス、小型モーター、プリンター、健康機器、LED

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,311百万円	3,477百万円